



## 熊本市 感染症発生動向調査 速報



ヘルパンギーナがこれからピークを迎えます。手足口病も警報継続中です。

## ●ヘルパンギーナ

コクサッキーウイルスやエコーウイルスなどの、エンテロウイルスの感染によって、口の中の粘膜に小さな水ぶくれ（水疱）ができる感染症です。4歳以下の感染がほとんどで、1歳が一番多い傾向にあります。

## ◆どんな病気？

・症状……突然の発熱（38～39℃）に続いて、のどが赤く腫れて痛み、口の中の粘膜に直径1～2mmほどの小さな水疱ができます。水疱が破れて浅い潰瘍になると痛みを伴います。

・潜伏期間…2～4日程度

・感染経路…感染者のくしゃみのしぶきや鼻水、水疱、便の中に含まれるウイルスが、手などを介して口や鼻の中に運ばれることによって感染します。症状がなくなったあとも、2～4週間は便の中にウイルスが排泄されます。

・流行期……夏～秋に流行が見られます。5月頃より増加し始め、6～7月にピークがあり、8月以降は減少します。

## ◆かかったらどうすればいいの？

・ほとんどの場合、特別な治療は必要なく自然に治りますが、まれに髄膜炎や心筋炎を合併することがあります。元気がなくぐったりしていたり、頭痛や嘔吐、高熱、脱水症状があるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。

・口の中を痛がって、水分や食事がとれなくなることがあります。薄味でやわらかいもの、白湯やスポーツ飲料などをこまめにとらせ、脱水にならないようにすることが大切です。

## ◆予防法は？

・手洗いが基本です。特に感染者の排便後の手洗いが重要です。感染していることのおむつを取り替えたり、鼻水をとったりした後は、しっかり手を洗いましょう。



期 間		平成30年 27週		平成30年 28週	
		7/2～7/8		7/9～7/15 (最新)	
疾患名 <small>(百日咳は平成30年1月1日より全数報告へ変更になりました)</small>	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		2	0.08	0	0.00
RSウイルス感染症		3	0.19	0	0.00
咽頭結膜熱(プール熱)		10	0.63	2	0.13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		26	1.63	16	1.00
感染性胃腸炎		92	5.75	92	5.75
水痘(みずぼうそう)		2	0.13	3	0.19
手足口病		89	5.56	117	7.31
伝染性紅斑(りんご病)		0	0.00	0	0.00
突発性発しん		18	1.13	9	0.56
ヘルパンギーナ		12	0.75	23	1.44
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		0	0.00	0	0.00
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)		17	3.40	18	3.60
細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎		2	0.40	1	0.20
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	0	0.00